



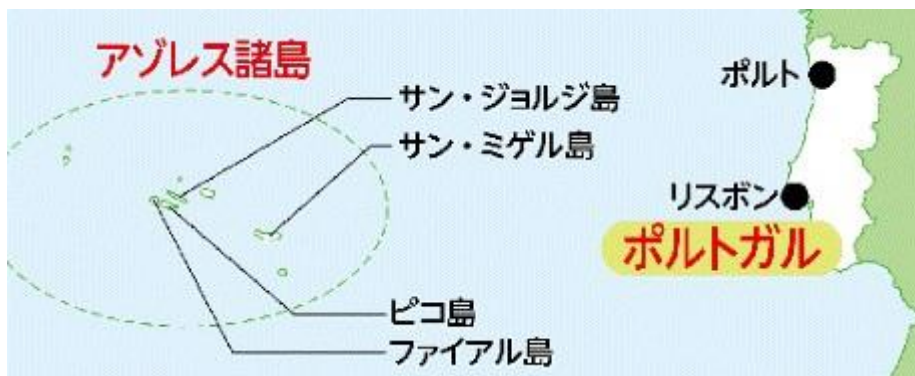
留学だより NO.9



こんにちは。AFS66期生でポルトガルに留学中の大倉です。
明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。
時が経つのは早いもので気づけばもう2020年ですね。東京オリンピックが近づいていますね。

今回の留学だよりでは、年末年始のアゾレス諸島への旅行について書きます。

<アゾレス諸島>



先日、アゾレス諸島のサン・ミゲル島へ旅行してきました。アゾレス諸島は大西洋の中央部に位置するポルトガル領の群島で自治権をもっています。また、酪農が盛んで、かなりの数の牛と出会いました。初日に空港から出た時も牧場の香りがしました。アゾレス諸島はチーズの生産が盛んです。アメリカから来た観光客の方が「ここはチーズの島だね」と楽しそうに話していました。チーズが好きな私にとっては夢のような島でした。

Lagoa do fogo(フォーゴ湖)

フォーゴ湖はポルトガルの中心部にあるカルデラ湖です。緑に覆われていてとても綺麗でした。しかし、フォーゴ湖に行くには片道5.5kmの道を歩かなければなりません。勾配が厳しくて少し疲れましたが、とても美しく、往復11km歩くだけの価値があったと思います。有名な観光地なので色々な国から観光客の方が来ていました。



Lagoa das furnas



ここは噴気孔の観光地です。いくつもの噴気孔からお湯がボコボコと湧き出ていました。そして、温泉特有の香りが充満していました。歩いていて箱根を思い出しました。また、キリスト教関係の看板がたくさんありました。

Lagoa das sete cidades

この池は、アゾレス諸島で最大の淡水貯水池だそうです。この池は、水路で分割されていて、水が二色になっていてとても綺麗でした。



←日本語を見つけてうれしくなりました。

Poça da dona beija



ここは温泉です。5つのエリアに分かれていて、エリアごとに深さや温度が違っていました。お湯はオレンジ色っぽい感じでした。日本を出てから約3カ月半、久しぶりにお湯につかりました。日が暮れると、とても幻想的な景色でした。

サン・ミゲル島はとても自然豊かな島でした。壮大な自然を前にすると、人間って小さいなと思いました。そして、自然を大切にしようと思えました。

10. Jan. 2020

11期生 大倉